

MEC



COMPANY PROFILE

MEC was founded in 1969, and mainly develops, manufactures and sells chemicals for the manufacturing of printed circuit board. Some of our chemical products dominate the global market. Our company excels in the research and development centering on interface treatment for the electronics industry. The range of our business extends not only within Japan but also globally.



化学薬品メーカーの、見えない「モノ」「コト」づくり。

私たちがつくる化学薬品は、目には見えないミクロンの世界をつくります。

見えない場所で使われますが、基板づくりに欠かせない化学薬品であり、

物質と物質が接する目に見えない界面を創造します。

また、製品の品質を追求し信頼性を高めるために、

連結売上の約10%を研究開発費に投入し、

お客様からは見えない原料調達、製造工程、出荷方法にいたるまでこだわります。

そして私たちは、世界中に信頼の輪を広げ、人々の暮らしに貢献し続けます。



経営理念

わたしたちは「独創の技術」「信頼の品質」「万全のサービス」を信条に、自由に着想し、グローバルな事業活動を通して界面価値創造を実現することで豊かで潤いのある社会と環境づくりに貢献します。

社是

仕事を楽しむ



PRESIDENT'S MESSAGE

トップメッセージ

高品質な製品・サービスと
目に見えない付加価値を提供し、
期待感を持たれる企業であり続ける。

私たちメックは創業以来、電子基板の製造工程で使用される化学薬品を研究開発、製造・販売し、エレクトロニクス業界の発展を支え続けています。

事業展開においては、研究開発を経営資源の核とし、お客様から求められる製品や、中長期的に先を見据えた先進性ある製品を社会に提供することを使命と考えると同時に、当社の研究開発力への期待感を持っていただける製品を常に届けられるよう努めています。そのためにもエレクトロニクス業界の動向に注視し、その需要を探り、将来へのシーズをまき、日々研究開発に取り組んでいます。一方で製品を提供するだけでなく、技術サポートや将来技術に関する情報などの付加価値も重要とし、製品であるモノだけでなく、関連する技術であるコトを提供できる強みを持つ、顧客満足度の高い企業であり続けます。

近年では、今後進展するIoT・AIに象徴される第四次産業革命の全ての変化を見据え、電子基板製造の化学薬品開発で培った技術を応用した、新たな事業展開を企業構想に加えています。このような新事業においても、付加価値を含む高品質な製品・サービスを提供し、社会に貢献し続けます。

代表取締役社長

前田和夫





界面価値創造

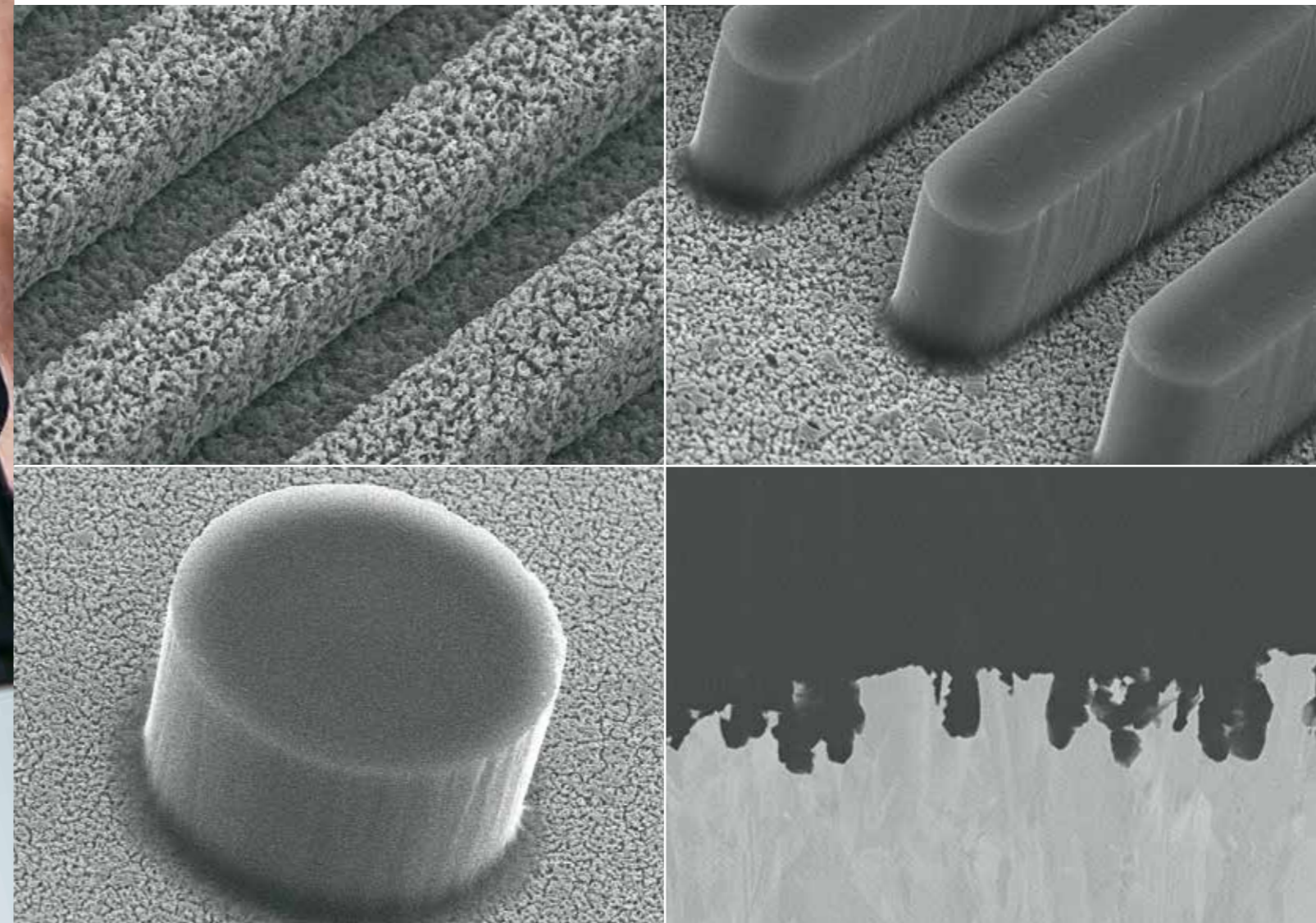
私たちの強みは、長年培った銅表面処理技術をコアとする研究・開発を重ねてきた「界面創造技術」。

私たちの製品である化学薬品は、金属と樹脂とが接する境界である目には見えない「界面」を創造します。

特に、精密な電子回路の形成における界面で重要とされる一つが密着信頼性です。私たちの化学薬品は金属表面を溶かしたり改質することで付加価値を与え、その密着性の向上を叶えます。

こうした界面を創造する私たちの技術は、エレクトロニクス製品の進化・高度化の一役を担っています。

私たちがつくる化学薬品は、
目には見えないミクロンの世界を
つくります。



MORE
INFORMATION

見えない場所で使われますが、
基板づくりに欠かせない化学薬品です。

APPLICATION EXAMPLES

用途例

私たちの製品は多層基板、ビルドアップ基板、半導体パッケージ基板などの製造工程で 사용되는化学薬品。私たちは高度な金属表面処理技術が求められる基板づくりを支え、エレクトロニクス製品の高機能化、高性能化そして革新に貢献する化学薬品を提供しています。

AUTOMOBILE

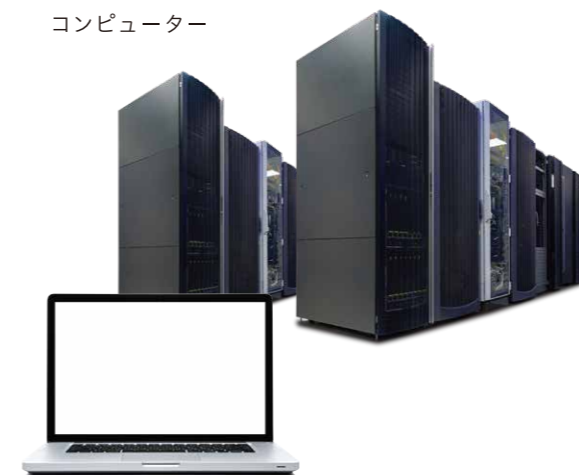
自動車



自動運転車の実用化、自動車の電装化が進み、機能もますます高度化しています。今後は各種センサー類や周囲を監視するカメラなどの搭載数が急増します。メックがこれらの搭載機器の信頼性向上を支えます。

COMPUTER

コンピューター



コンピューターの処理能力向上、消費電力の低減の要求を背景にCPUや、メモリー等をひとつのパッケージ基板に搭載する技術が進んでいます。そのためパッケージ基板はますます高精細化、高多層化が進み面積が大型化しています。メックの製品にはそれらの製造工程で高い信頼が寄せられています。

SMARTPHONE

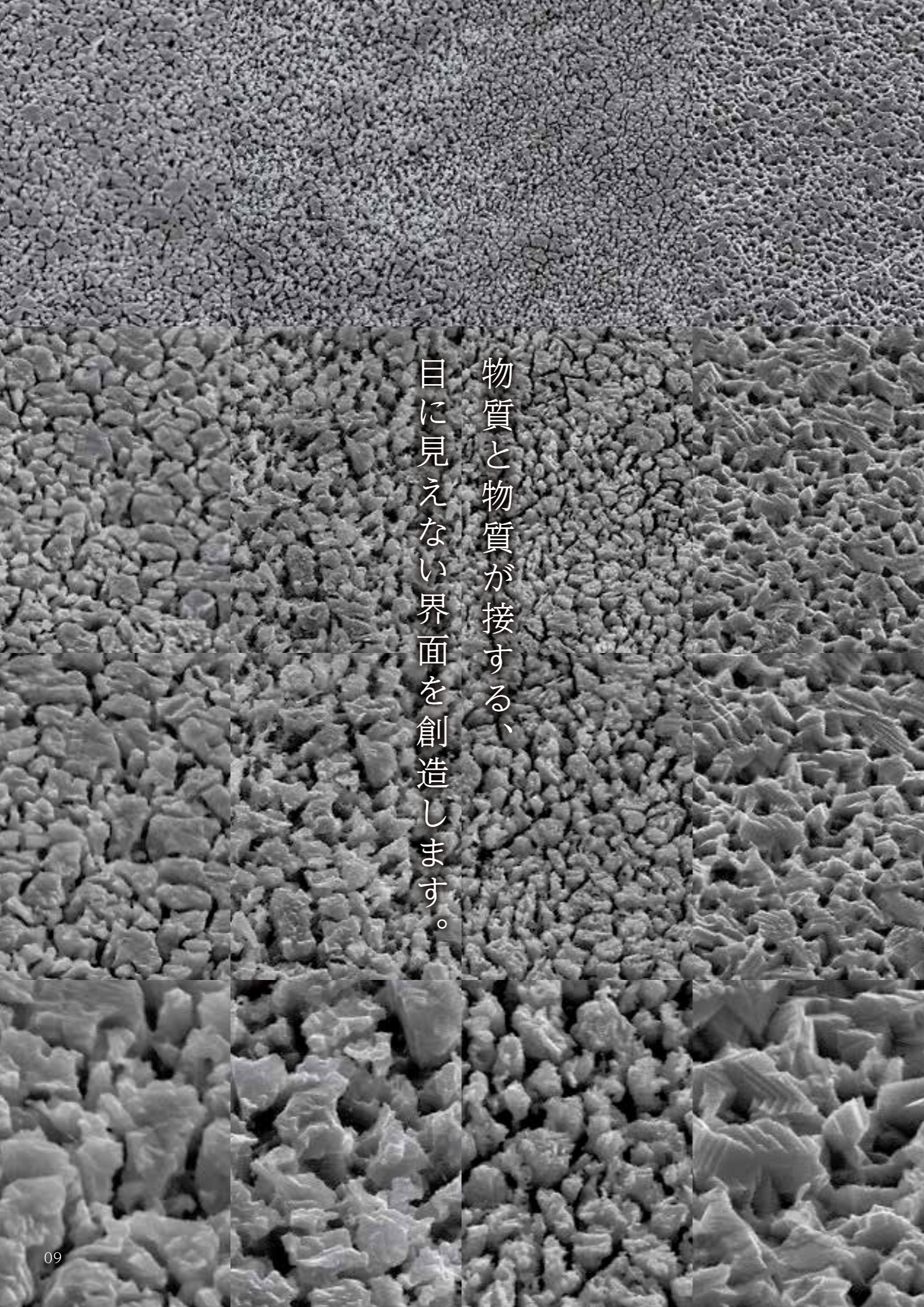
スマートフォン



第5世代移動通信システム(5G)への移行に向けた取り組みが進んでいます。ネットワークの高速化に伴い、スマートフォン自体の高速処理が必要になっています。メックの界面処理技術が高性能化、軽量化を支えます。



MORE
INFORMATION



物質と物質が接する、
目に見えない界面を創造します。

TECHNOLOGY

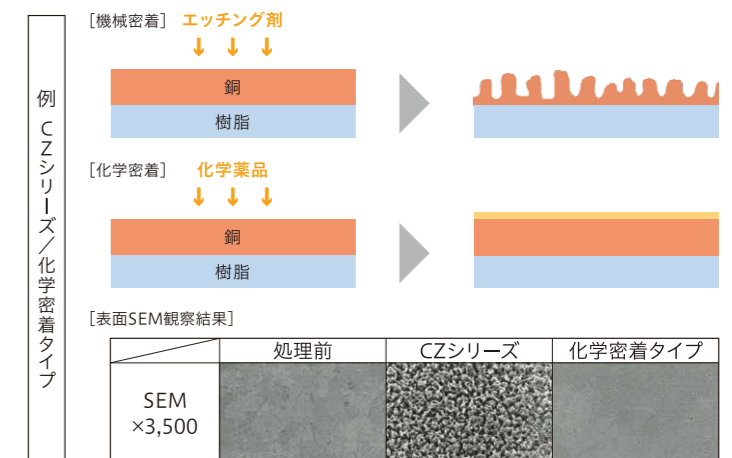
技術

私たちのコア技術である金属表面処理技術は、金属を溶かすことで付加価値を与える技術。エレクトロニクス製品の高性能化や小型化、軽量化など、IoTの進展によりさらに活躍のフィールドが広がります。私たちは目には見えない界面を創造する独自の技術で電子機器の信頼性を高めます。

密着向上技術

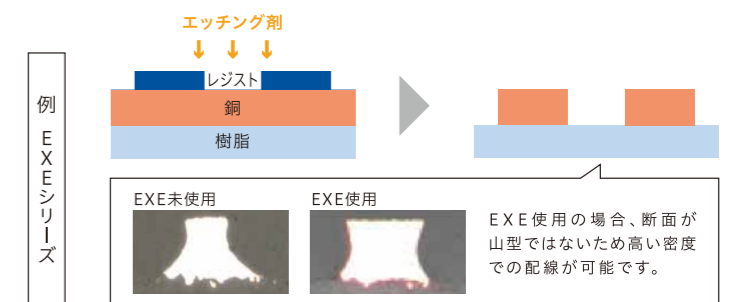
金属表面を薬品処理することで、金属と樹脂を密着させる技術です。

「機械密着」は金属の表面に微細な独特の凹凸形状をつくり、アンカー効果^{※1}を利用します。「化学密着」は金属の表面に被膜を形成し、化学的な作用により密着性を向上させます。



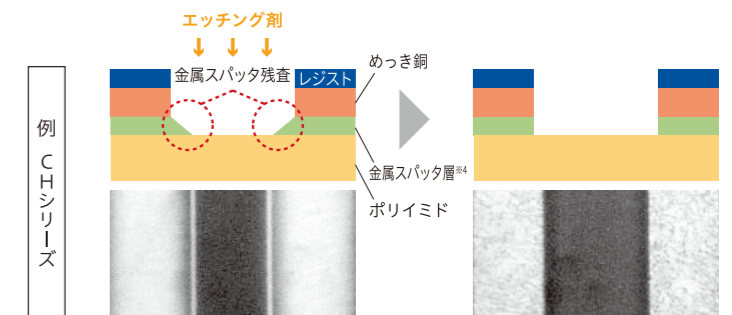
微細配線形成技術

電子基板の微細な配線パターンを形成する技術です。サブトラクティブ工法^{※2}でも高密度配線の形成を可能にします。



選択エッチング技術

2種類以上の金属が共存する中から、特定の金属を他の金属に影響を及ぼさずにエッチング^{※3}する技術です。



※1 アンカー効果: 金属表面の微細な凹凸に溶けた樹脂が入り込み硬化することによって、密着性が向上する効果のことです。
 ※2 サブトラクティブ工法: 不要な銅部分をエッチングで除去し、配線パターンを形成する工法のことです。
 ※3 エッチング: 金属表面を化学薬品などで溶解させる表面加工技法です。
 ※4 金属スパッタ層: ポリイミドの表面に電気を流すための金属蒸着層です。



MORE
INFORMATION



社内の3人に1人が、
見えない世界を創造する
研究員です。

RESEARCH & DEVELOPMENT

研究開発

メックの強みである研究開発力。単体従業員の約3分の1が研究開発に携わり、連結売上約10%を研究開発費に投入しています。見えない世界を創造するために、市場ニーズに迅速かつ柔軟に対応し、製品化に取り組める体制を構築しています。

研究開発フロー

01 テーマの決定

研究員が自ら営業と現場に向き、お客様のニーズを把握します。その後、経営陣・営業・研究・製造の各部門の責任者が集まり、開発テーマを決定します。



02 ビーカー試験

決定した仕様に基づき、研究員が実験を行います。仕様通りの結果が得られるまで、徹底的に試します。その中で様々なノウハウが蓄積されます。



03 スケールアップ試験

実際の基板生産装置と同等の応用実験装置を使い、製品化への検証を重ねます。完成した試作品は、基準をクリアしているか厳しく審査されます。



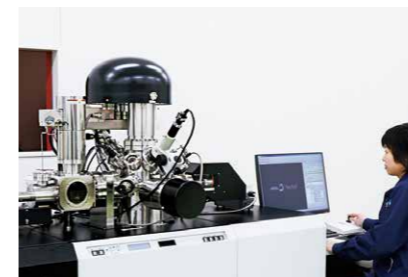
04 製品化

開発された製品を研究と製造で連携し、迅速に製品化します。



分析機器

XPS (光電子分光装置)



物質表面の構成元素、化学結合状態の分析が可能です。

FE-SEM (電解放出形走査電子顕微鏡)



金属・鉱物・生物など25~100万倍までの観察が可能です。

コンフォーカル顕微鏡



Z方向にも解像力を持つため、物体の表面形状測定や粗さ測定などを行うことが可能です。



MORE
INFORMATION

品質を追求し信頼性を高めるために
見えないところまでこだわります。

QUALITY

品質へのこだわり

お客様からは見えない、原料調達や製造工程、出荷方法にいたるまで私たちはこだわります。すべてはお客様にご満足いただける高品質な製品をお届けするため。製品を届けるだけでなく、顧客サポートにも最大限の努力を傾けます。メックは品質・信頼性の向上を追求し続けます。

調達から出荷まで

01 配合

- ・原料の入荷から受入検査、製品への使用までを記録／管理
- ・バーコード管理で配合用原料を特定し、必要量を計測
- ・バーコード管理により原料を配合槽に投入



02 最終検査

- ・社内規格との照合
- ・製造した化学薬品の性能チェックを実施



03 充填

- ・最終検査に合格した化学薬品を容器に充填
- ・出荷まで倉庫内に保管
- ・容器は使用後洗浄し、リユース使用



04 出荷

- ・バーコードによるロット番号、出荷先などの履歴管理
- ・一定期間、全製品のサンプルを保管



品質管理について

トレーサビリティ管理



ヒューマンエラーの防止、トレーサビリティの管理や品質管理の強化などを目的に、「配合管理システム」「出荷管理システム」を導入しています。配合作業のオンライン化や原料投入に関するトラブル防止、生産・作業記録の自動化などを実現しています。またお客様の注文に応じて、原材料の注文・受入検査から、出荷までの履歴を管理しています。

製品管理システム



出荷のために製品が倉庫から出庫される際、送り先・製品・数量などの出荷指示データを取得し、履歴を管理・記録しています。製品名・ロット番号・有効期限などの情報が記載された二次元バーコードを製品ラベルと荷札の双方に貼付け、バーコードリーダーで出荷先と製品の照合を行います。

品質・環境マネジメントシステム



「独創の技術」「信頼の品質」「万全のサービス」を通じて、広く社会の発展に貢献する経営理念のもと、品質の追求と信頼性の向上を目指し、すべての国内拠点・海外工場において国際規格ISO9001・ISO14001を認証取得しています。



MORE
INFORMATION

世界中に、信頼の輪を広げています。



JAPAN

GLOBAL
BASE

メックタイ



31 Moo 1 Rojana Industrial Park
T. Banchang, A. Uthai, Ayutthaya 13210.
TEL. +66-35-355-850-53
FAX. +66-35-355-854
生産能力: 500t/月
敷地面積: 9,564㎡
延床面積: 3,979㎡
設立日: 2017年5月

メック香港



香港九龍尖沙咀廣東道33號
中港城第三座12樓8室
TEL. +852-2690-2255
FAX. +852-2690-2262
設立日: 1996年3月

本社・尼崎事業所



〒660-0822
兵庫県尼崎市杭瀬南新町3丁目4番1号
(代表) TEL. 06-6401-8160
FAX. 06-6401-8165
(営業) TEL. 06-6401-8162
FAX. 06-6401-8166
(研究所) TEL. 06-6401-8170
FAX. 06-6401-8172
(尼崎工場) TEL. 06-6401-8163
FAX. 06-6401-8167
生産能力: 900t/月
敷地面積: 14,214㎡(尼崎事業所全体)
延床面積: 9,602㎡(尼崎事業所全体)
稼働: 2017年4月

本社・東初島事業所



〒660-0832
兵庫県尼崎市東初島町1番地
TEL・FAXは本社・尼崎事業所と同じ

東京営業所



〒190-0003
東京都立川市栄町6丁目1番1号
立飛ビル7号館7階
TEL. 042-538-1080(代)
FAX. 042-538-1090

長岡工場



〒940-2045
新潟県長岡市西陵町221番地36
TEL. 0258-47-2490(代)
FAX. 0258-47-2493
生産能力: 2,750t/月
敷地面積: 20,877㎡
延床面積: 4,901㎡
稼働: 1993年5月

メック中国(蘇州)



中国江苏省苏州工业园区
临江路31号
邮编: 215121
TEL. +86-512-6745-1990
FAX. +86-512-6745-1993
生産能力: 450t/月
敷地面積: 9,270㎡
延床面積: 3,679㎡
設立日: 2001年10月

メック珠海



中国广东省珠海市金湾区
三灶镇安基东路530号
邮编: 519040
TEL. +86-756-762-2328
FAX. +86-756-762-2628
生産能力: 1,000t/月
敷地面積: 10,008㎡
延床面積: 3,634㎡
設立日: 2002年12月

メック台湾



台湾省桃園市中壢区
自強六路三號
地址: 32063
TEL. +886-3-434-3549
FAX. +886-3-434-5047
生産能力: 1,200t/月
敷地面積: 7,385㎡
延床面積: 4,661㎡
設立日: 1990年4月

メックヨーロッパ



Kaleweg 24-26, B-9030 Gent,
Belgium
TEL. +32-9-216-7272
FAX. +32-9-216-7270
生産能力: 400t/月
敷地面積: 5,000㎡
延床面積: 2,638㎡
設立日: 1992年11月



MORE
INFORMATION

会社概要

会社名 メック株式会社
本社所在地 〒660-0822 兵庫県尼崎市杭瀬南新町3丁目4番1号
主な事業内容 電子基板・部品製造用薬品の開発、製造販売及び、
 機械装置、各種資材の販売
設立年月日 1969年5月1日
資本金 594,142,400円
上場市場 東証プライム(証券コード:4971)
従業員数 454名(連結)、263名(単体)
(2023年12月31日現在)

役員
代表取締役社長 前田 和夫
取締役常務執行役員 中川 登志子
取締役常務執行役員 住友 貞光
取締役(独立社外取締役) 北條 俊彦
取締役(独立社外取締役)
監査等委員会委員長 高尾 光俊
取締役(独立社外取締役)
監査等委員 橋本 薫
取締役(独立社外取締役)
監査等委員 宮下 英二
(2024年3月19日現在)

沿革

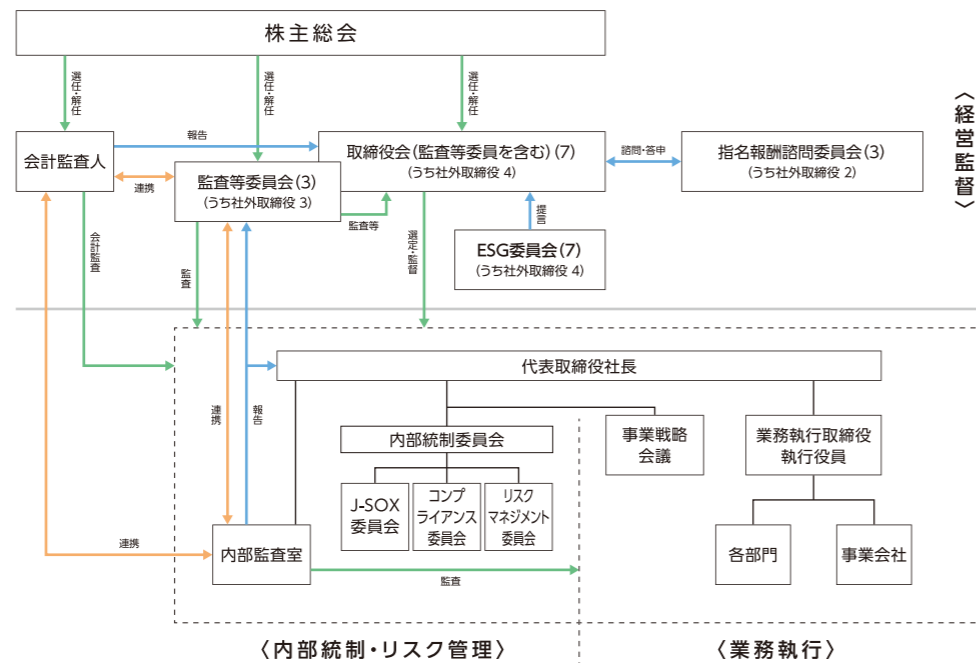
- | | | | |
|---------|-----------------------------|---------|-----------------------------------|
| 1969.05 | 大阪市北区にメック株式会社設立 | 2001.01 | 大阪証券取引所ナスダックジャパン市場(現ジャスダック市場)に上場 |
| 1970.02 | 銅表面処理剤・はんだ表面処理剤の販売を開始 | 10 | 現地法人メック中国(蘇州)設立 |
| 1971.09 | 第1回JPCAショーに出展、以後連続出展 | 2002.05 | 研究所施設拡張 |
| 1975.04 | 東京都立川市に東京営業所開設 | 12 | メック香港の子会社としてメック珠海設立 |
| 1979.10 | HALフラックスの販売開始 | 2003.04 | 東京証券取引所市場第二部に上場 |
| 1981.07 | 兵庫県尼崎市東初島町に本社を建設 | 2007.03 | 東京証券取引所市場第一部に指定 |
| 1985.06 | 兵庫県西宮市に西宮工場建設 | 2009.09 | 大阪証券取引所ヘラクレス市場(現ジャスダック市場)上場廃止 |
| 1989.04 | 本社に研究所併設 | 2016.10 | 本社・尼崎事業所社屋を建設 |
| 1990.04 | 台湾に初の海外支店(現メック台湾)を開設 | 2017.01 | 兵庫県尼崎市杭瀬南新町に本社・研究を移転 |
| 1992.11 | 現地法人メックヨーロッパ設立(ベルギー、ゼント) | 04 | 兵庫県尼崎市杭瀬南新町に尼崎工場を稼働 |
| 1993.05 | 新潟県長岡市に長岡工場建設
新潟営業所を併設 | 05 | 現地法人メックタイ設立 |
| 1995.01 | 銅表面粗化剤メックエッチャポンドCZシリーズの販売開始 | 2022.04 | 東京証券取引所の新市場区分再編により「プライム市場」に移行 |
| 1996.03 | 現地法人メック香港設立 | 2023.08 | 東初島研究所に本社部門の一部を移転
名称を東初島事業所に変更 |

コーポレートガバナンス

メックでは取締役会を毎月開催することで、経営に関わる重要事項の決定および取締役の職務執行を監督しています。
 また執行役員制度を設け、執行役員が業務執行に専念できる体制にするとともに、取締役会での意思決定の迅速化を図っています。



MORE INFORMATION



(2024年3月19日現在)